

# 街歩きヒストリア



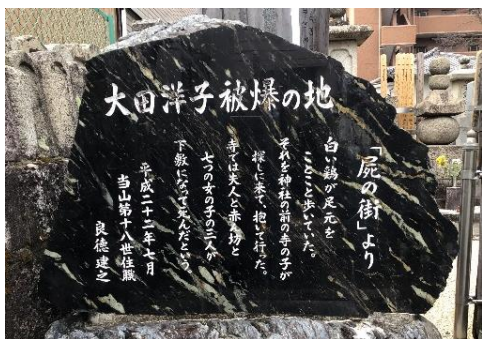
## 宝勝院

白島九軒町

②8

広電白島線終点から北に徒歩 10 分。宝勝院は毛利輝元の広島城築城の折、輝元の親族が開基した広島城鬼門守護の寺です。開基時は碓神社が境内にありましたが、福島正則の時代に寺領は没収され、明治時代には神仏分離により神社と分離・縮小されました。

原爆投下では本堂諸堂を焼失するなど、幾多の困難に見舞われてきた寺ですが、現在は近代的な寺院として再建されています。新型コロナウイルスが収束しない今、七転八起の寺、宝勝院を訪ねてみてはいかがでしょうか。（文・小川敏明さん）



裏手の墓地には、作家・大田洋子の作品を刻んだ碑があります。彼女は寺院隣家で被爆し、前住職の母親と弟、七歳であった妹の被災状況を小説に記しました。悲しい歴史を忘れず平和を求めようとする祈りの石碑です。

中央公民館エリア（白島、基町、幟町）の街の魅力を歴史とともに紹介するコラム「街歩きヒストリア」。公募で集まった制作スタッフが編集します。